２０１３年Ｌａｓｅｒ４．７級世界選手権大会（ハンガリー　バラトン湖）　レポート

江ノ島フリート　藤本　拳

7月6日～13日にハンガリーのバラトンフュレッドで行われたレーザー4.7級ユース世界選手権に参加しました。この大会はヨーロッパ選手権も兼ねていたため参加選手が多く、男子245艇を4フリート、女子128艇を2フリートに分けてのレースとなりました。

僕のこの大会での目標は「ずっと練習してきたスタートを成功させてゴールドフリートに残る」でした。しかしプラクティスレースでのスタートは失敗してしまい、後ろの方を走っていました。その結果、すごく不安の中で初日を迎えました。

しかし初日は風がなく陸上待機でした。そして昼過ぎに出艇したもののレースをやらずに終わりました。

二日目はスタート後にレース中止にはなってしまったものの前の方で走れたので不安が少しなくなりました。陸や海上で待機するということが続いたのでとても疲れましたが、集中している状態を続けることが重要だということがわかりました。

三日目以降になりレースが始まると、外国の選手との差が分かってきました。その差とはスタートの時の混戦の中をうまく抜けてくること、スタート直後のクローズの角度やクローズ、ダウンウィンドでのスピードやロールタックなどの基本動作が上手なことです。

今後はこの大会のような高いレベルを想定しながら練習をして、技術の改善をしていきたいと思います。

たくさんあった風待ち時間やレセプションの時には外国の選手と交流もできたことも良い経験になりました。

また、今回レースに帯同していただき、お世話になった齋藤愛子さん、高橋昌威さん、そして応援してくださったみなさんありがとうございました。